

町内全戸に戸別受信機設置を



田中 伸一 議員

田中伸一議員 現在、宮之城町においては、災害のときのお知らせは、屋外スピーカーと、公民館長、公民会長、消防団員、町職員、地区公民館にある戸別受信機で放送されているが、屋外スピーカーは台風の時、大雨の時には聞こえにくい。鶴田町や薩摩町では、全戸設置されている。本町でも、全戸に設置する考えはないか。

北村町長 災害時の情報

伝達は、屋外拡声装置からと、各公民会の有線放送から行っている。また、

浸水地域、崖崩れ地域に

ある世帯には、戸別受信機を別途に設置しており、災害が予想されるときには、各公民会長の戸別受信機により有線放送で放送できる。また、テレビ、ラジオなどに情報提供して、広報する方法もとっている。戸別受信機の全戸設置については、薩摩町は平成六年度、鶴田町は平成七年度に全戸設置されているが、本町のシステムについては、戸別受信機と同程度の機能を果たしているものと考えている。将来的には、デジタル対応式の無線システムへ移行していくと考える。全国的な普及状況や設備機器の改良、発達の状況を見ながら、今後検討していきたい。



災害時等に情報発信を行う防災無線通信室（町役場）

有線放送設置助成を
無線放送にも適用を

るが、有線放送設置助成金を無線放送設置にも適用できないか。

経費が高い無線放送

町長 有線放送の新設・更新については、事業費の五割を助成している。これまでに、更新を検討している公民会から要望があり、設置費用などを検討したが、一般的に普及していない状況で、経費的にも倍くらいかかるようである。今後、国の補助事業の導入、デジタル化を視野に入れた活用の可能性を検討していきたい。

田中議員 有線放送は、台風等の災害で断線により、度々聞こえなくなり、補修の手間と経費がかかる。無線による放送施設があ